



ローソク岩

萌州北街道から望む自然の力
により形を変える奇岩

日本海沿岸の増毛町から幌延町までの9市町村のエリアは通称、萌州（ほうしゅう）と名付けられ、そのルートは萌州北街道と呼ばれています。萌州エリアのほぼ中間点に位置するのが苦前町で、日本海を眺めると、天壳・焼尻の2島が間近に迫り、夕暮れ時にはこの2島の間に夕陽が沈んでいく、ドラマチックな光景に出会うことができます。

ローソク岩は国道232号を北へ向かい、小平町から苦前町に入るとすぐに見えてくる奇岩で、かつてはローソクのように細長い形状をしていましたが、波に削られ、少しづつ姿を変えるうちに、現在のような短いローソクの形になってしまいました。岩を削るほどの波の力、自然の威力を知る上でも貴重な奇岩と言えるでしょう。

波に削られた自然のオブジェとしてのローソク岩を眺めるなら、夕陽が沈む時間帯がおすすめです。空がオレンジ色に染まり、手前に横たわるローソク岩の岩盤、海とのコントラストは絶好の写真撮影スポットとなっています。

五感で感じる！ 風土資産の魅力

聴く 触る 味わう 嘸ぐ 知る

聴く 打寄せる波に削られ、かつての細長い形状から少しづつ姿を変えるうちに、現在のような短いローソクの形になったローソク岩。力強く打寄せる波の音を聴こう。

嗅ぐ 海岸線オロロンラインをドライブしながらのローソク岩観賞は、潮の香りを感じてとても爽快。

味わう 波に削られた自然のオブジェとして、人気の景勝地となっているローソク岩。夕暮れ時には観光客や写真愛好家が訪れるビュースポットになっています。

見どころ

ローソク岩と呼ばれる奇岩は全国各地にあり、北海道では積丹半島の余市町のローソク岩が有名です。苦前町のローソク岩はそれより北に位置し、同じ日本海のローソク岩でも自然が作り出すオブジェの違いを見ることができます。

ポイント

ローソク岩周辺の国道232号はカーブが続く一本道で、ドライブコースには最適ですが、脇見運転は禁物です。ローソク岩の撮影には駐車帯を利用し、途中、国道239号との合流点があるので注意してください。

■基本情報(R7.3)

問い合わせ：苦前町役場
TEL : 0164-64-2211

